



平成28年9月5日

各 位

上場会社名 トミタ電機株式会社
 代表者氏名 代表取締役社長 神谷 哲郎
 (コード番号 6898)
 問合せ先責任者取締役管理本部長 神谷 陽一郎
 (TEL 0857-22-8441)

営業外費用（為替差損）の計上、及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成29年1月期第2四半期連結会計期間（平成28年5月1日から平成28年7月31日まで）において営業外費用（為替差損）を計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年6月10日に公表した平成29年1月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用について

為替相場の変動により、平成29年1月期第2四半期連結会計期間（平成28年5月1日から平成28年7月31日まで）において、42百万円の為替差損を計上いたします。これは、主として当社保有の外貨建資産に対する為替相場が第1四半期末に対し、急激に円高に推移したことにより発生した為替差損であります。なお、平成28年6月10日に公表した第1四半期連結会計期間のものと同様に合わせまして、第2四半期連結累計期間（平成28年2月1日～平成28年7月31日）におきましては、為替差損は128百万円となります。

2. 特別利益について

固定資産の譲渡に伴い、平成29年1月期第3四半期連結会計期間において、83百万円の固定資産売却益が発生する見込みとなりました。詳細は本日開示の「固定資産の譲渡による特別利益の計上に関するお知らせ」に記載しております。

3. 平成29年1月期第2四半期連結累計期間（平成28年2月1日～平成28年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	829	△ 9	△ 7	△ 10	△ 1.55
今回修正予想(B)	686	△ 67	△ 194	△ 195	△ 29.71
増減額 (B-A)	△ 142	△ 58	△ 186	△ 185	
増減率 (%)	△ 17.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年1月期第2四半期)	817	△ 40	12	10	1.57

4. 平成29年1月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年2月1日～平成29年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,743	17	20	15	2.34
今回修正予想(B)	1,463	△ 48	△ 174	△ 95	△ 14.49
増減額(B-A)	△ 280	△ 66	△ 194	△ 111	
増減率 (%)	△ 16.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年1月期)	1,600	△ 216	△ 195	△ 200	△ 30.34

3. 平成29年1月期第2四半期個別累計期間（平成28年2月1日～平成28年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	579	△ 55	△ 43	△ 45	△ 6.91
今回修正予想(B)	517	△ 64	△ 180	△ 183	△ 27.75
増減額(B－A)	△ 62	△ 8	△ 137	△ 137	
増減率 (%)	△ 10.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年1月期第2四半期)	590	△ 61	4	2	0.33

4. 平成29年1月期通期個別業績予想数値の修正（平成28年2月1日～平成29年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,219	△ 93	△ 68	△ 74	△ 11.22
今回修正予想(B)	1,086	△ 91	△ 195	△ 117	△ 17.86
増減額(B－A)	△ 133	2	△ 127	△ 43	
増減率 (%)	△ 10.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年1月期)	1,136	△ 203	△ 146	△ 152	△ 23.05

5. 修正の理由

<<平成29年1月期第2四半期累計期間>>

個別においては、売上はフェライトコア販売は、国内市場はほぼ横這いとなりましたが海外市場で伸び悩み、コイル・トランス販売海外市場向けコイル製品の受注低下により売り上げ減少となりました。また為替が円高に推移したことなどにより5億1千7百万円となる見込みです。損益面においては、売上高の増加、原価率の低減、経費等の削減に努めたものの、為替差損の計上等により、経常損失、四半期当期純損失が拡大する見込みです。

連結においては個別において記載した理由と概ね同様の理由により、売上高は6億8千6百万円、営業損失は6千7百万円、経常損失は1億9千4百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億9千5百万円となる見込みです。

<<平成29年1月期通期業績予想>>

個別においては、売上は為替レートの見直し等により10億8千6百万円、損益面では売上の減少により営業損益は9千1百万円の損失、経常損益は上期に発生した為替差損が響き1億9千5百万円の損失となる見込みです。当期純損益においては、固定資産売却益8千3百万円が見込まれること等により、1億1千7百万円の当期純損失となる見込みです。

連結においては個別において記載した理由と概ね同様の理由により、売上高は14億6千3百万円、営業損失は4千8百万円、経常損失は1億7千4百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は9千5百万円となる見込みです。

(注意事項)

上記に記載した予想は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上